

令和4年度 安茂里幼稚園 「自己評価および学校（園）関係者評価」

1. 園の教育目標

『えがお わくわく あもりっ子 つよく かしく やさしい子』
 (スローガン) 芝生でびよん 畑でぱっくん みんなともだち あもりっ子

2. 本年度の重点目標

「芝生での屋外活動」 青空の下、緑の第2園庭で、遊び、運動し歌います。
 「畑での栽培収穫活動」 野菜を育て、採れたてのおいしい野菜をほおぼります。
 「異年齢での交流」 小規模園ならではの、縦割りの楽しい活動を行います。
 「小学校につなぐ活動」 小学校の見学、交流活動に力を入れ、入学に備えます。

3. 自己評価

A…十分達成されている B…達成されている
 C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・日頃より先生方に子どもたちをよく見ていただき、子どもたちの「やりたい」が実現できる保育に感謝している。
- ・地域で笑い声が響くような園であってほしい。今後の今までの伝統を継続し、良い園作りをしてほしい。
- ・小学校との交流を増やし、異学年からの学びが出来ることよい。園の遊びの中での人間関係作りや子どもたちの探求心や学びを学校でもいかせるようにする。
- ・教育課程を共通理解することは大事なことである。子どもの姿を具現化することが園の魅力やらしさにつながる。

5. 今年度の総合的な評価と次年度への課題

- ・保護者の方からは、園の保育についてご理解とご協力をいただいていると感じている。引き続き、子どもたちの姿を通して、園で子どもが育つ姿を感じていただければいいよう、発信していきたい。
- ・「主体的な学び」への取り組みとして、「子どもを真ん中」にして子どもたちが遊びから学び、育つ姿を求めて、環境や関わりなど試行錯誤してきた。職員が、自園の子どもへの育ちを共通理解し保育にあたるよう、教育目標や計画が浸透するように、職員同士の語り合いや園内研修を充実させていきたい。